

## 財団法人 森永酪農振興協会設立趣意書

日本の酪農業は、明治初年以來約100年の歴史を経過した。

時あたかも加工原料乳生産者補給金等暫定措置法が施行され1年を経過したが、全国酪農家戸数の減少、牛乳生産の停滞等、日本の酪農業史上かつてない転換期を迎えている。

原料牛乳の増産は、我が国酪農・乳業界にあって真に緊要な問題であるから、政府・民間挙げてあらゆる施策をもって増産を進めている現状である。

このような酪農の現状に鑑み、酪農の振興を目的とした財団法人森永酪農振興協会が設立されることになり、森永乳業株式会社は創立50周年を記念として1億円を寄附し、我が国酪農業発展の為に寄与することとした。

今後も毎決算期に相当額をこの協会の通常財産として拠出していく方針である。

この協会は広く日本酪農業の発展の為に調査研究の進歩を計り、実際の合理的経営を助長してその普及に務め、併せて酪農事業後継者の育成をはかり、広く海外諸国に知識を求め、もって日本酪農業の発展に寄与しようとするものである。